

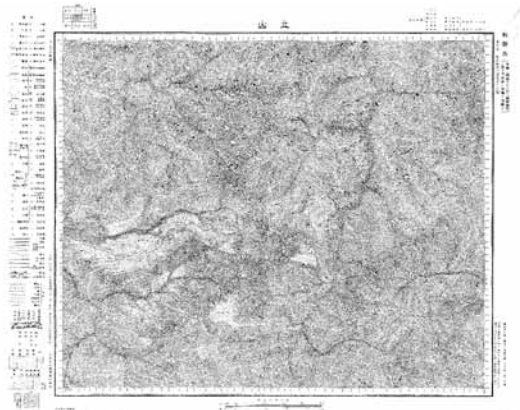


VOL 26

2009年8月号
発行2009年7月29日
日本山岳会 山岳地理クラブ
URL www.jac.or.jp/doukoukai/

旧版地形図のデジタル化と劔岳

前回の例会(7/2)において、国土地理院基盤地理情報課 2名(田中課長、関技官)の特別参加により、旧版地形図を電子化した地形図画像データのサンプル版の紹介があった。画像データはサイズ(画素数)の違いとファイル形式の違いが比較できるもので、電子画像の利便性がどのようなものか、プロジェクターに投影されたものを見ながら細部の検討を行った。このような画像データ化することで、地形図を活用する我々にとっては、パソコン上で簡単に内容を確認でき、必要な部分だけをプリントすることで原地図を傷めることなく利用でき、保存はより確実に安心できる専門施設に管理を委ねることができる。山岳会にとっては、マップケースを置くスペースに頭を痛める必要がなくなり、そのメリットは大きい。幸い宮崎副会長にも参加いただき、理事会の承認を待って、実現する可能性が高くなった。



大正元年発行 1/5万 複製版「立山」

サンプル版の図区は現在話題の劔岳周辺、5万分1「立山」と2万5千分1「劔岳」の発行年の異なるもので、5万分1は大正元年測量時発行版、昭和5年修正版、昭和28年版、

昭和32年版、昭和45年測量による修正版で、画像を見つめているだけでその当時の歴史の変遷を感じることができる。また2万5千分1は昭和45年測量のもの、平成15年の新図式の初刷版、最新の平成16年版で、それぞれ興味深い内容である。特に劔岳の標高の変化については大正元年版の2998mが昭和5年版から3003mとなり昭和43年の改測で再び2998m、平成16年版では三等三角点の設置により三角点の標高が2997m(基準点成果票では2007.03m)標高が2999mと表記されていることがわかる。



大正元年 1/5万「立山」



昭和28年 1/5万「立山」



平成45年 1/2.5万「劔岳」



平成16年 1/2.5万「劔岳」

また使われている漢字もその都度変更され、地図を読む奥深さを感じさせる。

なお旧版地形図のデジタルデータ(サンプル版)を閲覧希望の方は、近藤まで連絡ください。(文責・近藤善則)



連載 ゆにーく 標識&標石 旧街道をあるくならば(3) 旧道路標識

旧街道を歩くならば、最後にもう一つ。現在の道路標識は、青色の中に白色の文字での道路標識となっている。ところがマニアが見つけているのが、昭和40年代までどこでも見られた横書きで矢印が左脇にあり、キロ数が右側に記載されている道路標識。旧道沿いなら残存している可能性が高い。これまた発見した時は記念撮影を忘れませんように。(遠山記)

行ってきました

県境の山に登る

山崎 浩子

6月20日・21日と深緑と鮎・螢を楽しみに行こうと1年前から、京都南丹市にある京大付属の芦生の森を訪ねる計画を立てて来ました。参加者5名のうち3名は現役のため土日1泊だけの慌ただしい日程の中、その際平地だけではなく何処か手頃に登れる山は無いかと探していたら、京都府と福井県の境界に標高80

0m 関西百名山にもなっているハヶ峰という山が有るのを知りました。往復3時間弱その上森林浴の森百選にも選ばれアップダウンもさしてなさそうなびつりの山。

当日は何とか晴れ、翌日からは雨の予報。当初の予定は初日芦生の森、二日目にハヶ峰の予定を芦生の森は軌道の跡を歩く道でもあり森も深いので雨になっても問題なしと考え順序を入れ替えることにしました。

9時過ぎに京都駅で東京組と地方組が合流しレンタカーを借り行きは峠道を避け京都縦貫道を一路美山町へと。美山町で丁度

昼時、蕎麦屋で蕎麦と待望の鮎の塩焼きを食べ目的の一つは達成。由良川に沿って遡り今日の宿泊予定の茅葺きの里を過ぎ八ヶ峰の登り口を探す。八ヶ峰は子供たちの学校登山で登られ地元の人達には馴染みの山、登山口は京都府側二か所と福井県側に一か所所有。私達はピレッジラインと呼ばれ京都から福井側へと続いている道を車で五波峠へと上がる。車がやっとすれ違える位の道、途中倒木が道路を塞いでいた為降りて片付ける、広葉樹の木が鬱蒼として緑一色。バイクでツーリングしている若者とすれ違ふ、恰好のコースに思える。五波峠は広場のようになっていて数台の駐車が可能。



芦生の森のトロッコ道

登山道への道は車止めがしてある脇を通り抜けて尾根筋の道を進む。途中まで登山道の両側は植林された杉が植えられ、その幹の周りには地上0.5mから1.5mの間をビニールの荷ひもでぐるぐる巻きに、皆で不思議に思っていたが翌日地元の知り合いに聞いて納得。熊が爪を立てないよう熊避けだそう、この木が多いということは熊が多くいると云うことだそうで春先、初冬はご用心。10分ほど歩くと急な下り、降りきってまた緩やかな下りを気持ちよく歩く。木々が程良い間隔でとても気分がいい。エゴの花、珍しいピンクの山法師、小アジサイが満開。このまま歩き続けると日本海まで行ってしまふのではと思っていたら、ゆるい上り道を登りきったら頂上に到着。晴れて空気が澄んでいれば若狭湾が見えるそうですが、生憎と梅雨のさなかの上、下り坂の天気では望む方が無理というもの。福井県側にひらけていて中々の景色、次回は是非ここから若狭湾を眺めてみたいものです。帰りは同じ道を戻る。今回のこの八ヶ峰は全員初めて、名前も知らないで来てみたが思った以上の収穫で皆満足。

今日の宿泊先の茅葺きの民宿へ着くと丁度いい時間、お風呂に入って夕飯が準備されていくのを見つつ楽しみに待つ。名物地鶏のすき焼きはこんなには食べきれないというくらいの量、その他に山菜のてんぷら川魚の塩焼き等々、結局皆の胃袋の中に収まってしまう。この民宿は働いている人たちは通いで、片付けが終わると宿泊客だけに、その宿泊客も私達の他には二人だけ。帰る前に蛍見物に連れて行ってもらう、街灯もないので本当に真っ暗、川のそばたんぼの中に蛍の光がふわりふわり30分ほど楽しませてもらい宿へ戻る。夜半から予報通りの雨が、今日の内に八ヶ峰に行っておいて正解。

朝になると昨晚とは別な人が来て朝食を作ってくれる。この民宿は地域の人達で管理運営をしている。小雨降る中芦生の森へと向かう。駐車場に車を入れると先客が歩く準備をしている。京都の市内から来た人でしょう、様子を見ている来慣れている様子。入山ポストのノートに記入して私達も由良川沿いの軌道跡を時間と相談しながら歩き始める。森に入ると本当に深緑に染まりそう、傘を差しつつ軌道跡を歩く。途中軌道が落ちている所に前には無かった鉄製の階段が付けれられている。1時間ほど歩いたら軌道が完全に落ちていて沢に降り登り返す所まで来たので此処までとし引き返す。駐車場に着いたら一人が腕時計のあたりから血が流れているのに気づく、虫に刺されたのかと思いきや傷口を吸い取ってから水道で洗い流し手当をする。途中でばら風呂に入浴出来る

ころがあり、入りに寄って出てきたら一人が洋服を脱いだら蛭が落ちてきたからさっきの傷は蛭が血を吸って落ちた痕だろうと教えてくれた。過去数回来ているが蛭と会ったのは初めて。

京都へ戻る途中美山町の中で以前は民宿をしていて今は昼間食事だけ食べさせてくれる知り合いの家によって昼食を食べる。主人はいろいろの前に陣取り鮎の塩焼きの注文が入るとやおら鮎を取りに行き串にさして焼く仕事に専念。頼んだとろろそば定食全員美味しいと言ってくれ寄って良かった。これで目的二・三も果たし思い残すことなく周山街道を京都に向かって走る。

途中北山杉の美林を眺め、紅葉の名所高山寺・神護寺を脇に見て市内へ入る。新幹線の発車時間30分前に京都駅へ、各自お弁当、京都駅名物蓬莱屋の肉まんを買って車中の人となり充実した2日間を過ごし満足満足。今度来るときは八ヶ峰から若狭湾を眺め、芦生の森にガイドと入りやはり日本海が見えると云う杉尾峠にぜひ行ってみたいものです。

例会の議事録

7月定例会記録

2009年7月2日(木) 18:45~20:30 於JAC集会室B

出席者14名(北野、平野、近藤、遠山、高田、半田(明)、高橋、鶴田(泰)、山崎、鈴木、今井、特別参加(国土地理院基盤地理情報課(筑波)田中課長、関技官、JAC宮崎副理事)(順不同))

内容: 6月9日(火)高尾山域に於ける国土地理院とのGPS合同調査結果報告。詳細はAGCレポートvol.25で遠山、平野会員記事で報告済み。(遠山) 6月22日(月)に本部ルームで開催された同好会連絡会へ北野、平野2名で出席した。新会長の挨拶があった。特に報告事項はないが、ルーム予約の早い者勝ち風潮について総務で調整願うよう発言した。(北野) 整理した図書室の旧地図の今後の扱いについて国土地理院担当官と意見交換した。最終決定はJAC本部の判断になる。(北野) 既に25号まで発行した当会のAGCレポートを山研で閲覧出来るようにしてはどうか。特に異議はなかった。(近藤) 終了後「鮎の家」で懇親会(13名)。以上 (記録:今井)

図書・資料の紹介

かながわの山に咲く花 銀の鈴社刊 ¥2415-

神奈川県自然公園指導員連絡会編、神奈川県自然環境保全センター協力

神奈川県箱根・丹沢など、標高500m以上の山の麓から山頂までに咲く花を集めた花図鑑ですが、私も花々の観察・撮影などに参加し、神奈川県箱根・丹沢など歩き回りました。(堀内弘栄)

お知らせ

「AGCレポート」全号を上高地・山岳研究所で閲覧できるようにしました。平野さんにクリアファイルで作成していただき、7/24に山研に持参しました。今後発行毎に送付し追加する予定です。山研利用の際は是非活用ください(近藤)

次回の例会

日時 2009年8月5日(水) 18:30から

於:山岳会 ルーム

テーマ:地形図調査、山行計画ほか

編集後記 各地で局地的大雨の被害が報道されていますが、そんな中上高地・山研の取水口の修復に行ってきました。飲料用と発電用の水が危うい状況です。次号にスペースの余裕があればお伝えしたいと思います(kon)

AGCレポート vol-25 2009年7月29日発行

発行:日本山岳会・山岳地理クラブ(代表:北野忠彦)

〒102-0081 東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会 気付

TEL 03-3261-4433 FAX 03-3261-4441

編集担当:近藤 E-mail:hikarikon@nifty.com